

一、次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

著作権の関係で

公開できません

問題

問一、AとBには同じ語が入る。文中より適語を探して入れなさい。Cも文中にある語が入る。これも答えなさい。

問二、――線①から⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問三、＝線①から⑤の漢字の読みを書きなさい。

問四、～線①の「青写真」と②の「確たる」の語の意味を説明しなさい。

問五、() 1から5に入る適語を、後群より選び、記号で答えなさい。

後群 イ、けれども ロ、要するに ハ、だから ニ、まずは ホ、むしろ

問六、次の文章は、段落A B Cのどの後に入るのが適切か。A B Cで答えなさい。

文章

「のびしろ」という言葉がある。「飲み代」とか「身の代」は辞書に出てくるのに、私の辞書が古いからか、「のびしろ」は出ていない。「糊代」とか「綴じ代」という言い方もあって、これは別の何かの為にとっておく空白という意味だ。だから正しい言い回しなのかどうかは知らないが、それからまだ伸びる余地があることとして「のびしろ」というこの語は口にされてきたところがある。その意味で、「のびしろ」は、糶を撒いて稲の苗を育てる田としての『苗代』に通ずるところがある。

問七、問題文中で筆者は「アート」はどのような場」と言っているか。25字以内で文中より書き抜きなさい。

また、それは反対に現実社会ではどのような視方(みかた)がされているか。それが説明されている部分を本文中より50字以内で探し、最初と最後の5字(含む)を書きなさい。

問八、文中で「型」として説明に出てくる「遊園地」と「原っぱ」の一番大きな違いは何か。10字以内で答えなさい。

問九、アートの現場で『揉みに揉まれて』身につく力・学ぶ力はどのようなものだと説明しているか。その最適部分を見つけ、最初と最後の5字ずつを書き抜きなさい。

問十、アートと看護の共通するところ何だろうか。この文章に即して10字以内で答えなさい。